

## 令和2年度第三セクター経営評価結果及び対応について

## 公益財団法人青森学術文化振興財団

## 1 令和2年度 経営評価

評価項目	目的適合性	効率性・効果性	組織運営の健全性	財務の健全性	透明性	自立性
第一次評価 (法人)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好
第二次評価 (所管部局)	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好	概ね良好

すべての項目において「概ね良好」という結果となっている。

## ※参考 令和元年度決算

- 当期損益 △5,801千円 累積損益 277,283千円
- 市からの収入 なし

## 2 第三セクターの対応

## ◆経営戦略プラン(R1～R3)の取組と計画

平成30年度に策定した経営戦略プラン（計画期間：令和元年度～令和3年度）に基づき、設立目的の達成に向けた取組を継続していく。

## ○具体的取組

- ① 大学等の地域還元への支援の継続実施
- ② 資産運用方針の見直し等による経営安定
- ③ 職員の資質向上及び法人内部の知識蓄積

○財務計画:収支相償が求められているため、基本的に当期損益は0円が目標

## 【取組状況】

経営戦略プランに基づき、職員の資質向上や事業の安定化に努めながら、地域還元に資する事業実施を行っている。経営評価は全ての項目において「概ね良好」となっており、引き続き、同プランに基づいた健全経営と効率的・効果的な事業実施に努めていく。

## 3 市の対応

助成事業については、審査委員会による得点率に応じて助成率を段階的に変更するよう指導している。

資産運用収入の範囲内で事業実施する財団の特性上、低金利により一般正味財産が減少傾向となっていることを踏まえ、引き続き、経営戦略プランに基づく一層の経営健全化と効率的・効果的な事業実施を促していく。